

## 添付資料

### 看護研究「入退院を繰り返す慢性心不全患者の実態調査」についての情報公開

厚生労働省の「人口動態統計の概況」によると 2019 年 1 年間の死因別死亡総数のうち心疾患は 207,714 名と死因別死亡数全体の 15.0%を占めており、悪性新生物に次ぎ 2 番目に多く、そのうち心不全は 85,565 名と最も多く心疾患の死亡数の 41.2%を占めています。

我が国の超高齢社会において心不全入院患者数は年々増加傾向にあります。当院の循環器病棟で 2018～2020 年度の心不全入院件数は 337 件でありそのうち再入院は 69 件と全体 20.5%を占めています。

心不全の経過は複雑かつ進行性であり、病状の進行に伴い急性増悪と軽快を繰り返し、予備力の低下につながっていき、心不全の再燃により再入院状態に陥ることが生命予後に与える要因として大きく関与します。入退院を繰り返すことで患者の Activities of Daily Living (以下、ADL)、Quality of Life (以下、QOL) を著しく損なうことに繋がります。入退院を繰り返す慢性心不全患者の実態調査を当院は行ったことがなく、今回慢性心不全で再入院した患者の特徴や生活背景を明らかにすることは退院支援の質の向上に繋がると考え、後ろ向き観察研究を計画しました。

研究対象期間：2018 年 5 月 1 日～2021 年 3 月 31 日まで。

研究対象：2018 年 5 月 1 日～2021 年 3 月 31 日までの 3 年間のうち 1 年未満に心不全で再入院した患者

方法：心不全で再入院した患者の基礎情報および患者・家族の意向をカルテより収集し、データを用いて検討し、退院支援の質の向上を検討します。データの解析を行う際には個人を同定できるデータは削除した形で行い、特定の患者さんに不利益をもたらされることのないよう最大限の配慮を行います。

なお、研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究協力拒否等のご要望につきましては、研究代表者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは、患者さん代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院  
看護部 6 階東病棟 千葉洋美

TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541

〒981-8563 仙台市青葉区台原四丁目3番21号